



★「フリースタイル リブレ」の保険が新しくなりました★ 臨床検査部 大太

昨年も「かえで通信」でお知らせしましたが、指先採血をしなくても血糖値に近い数値が分かる測定器があります。フラッシュグルコースモニタリングシステム（FGM）という方法の「フリースタイル リブレ」という測定器です。とても便利な測定器ですが、これまでは保険適応での使用に際して指先採血での測定が必須という制約があり、ちょっと使いにくい面がありました。

「フリースタイル リブレ」の特徴として、指先採血をせずにセンサーにかざすだけで血糖値が分かるメリットに加え、これまでの血糖測定は「点」で血糖変動を把握していたため見えない部分が多かったのですが、24時間の血糖変動を「線」として捉えることができます（表1）。血糖の動きが分かり、食事や運動の影響や、寝ている間の血糖変動や低血糖のリスクも見えるようになります。



「フリースタイル リブレ」

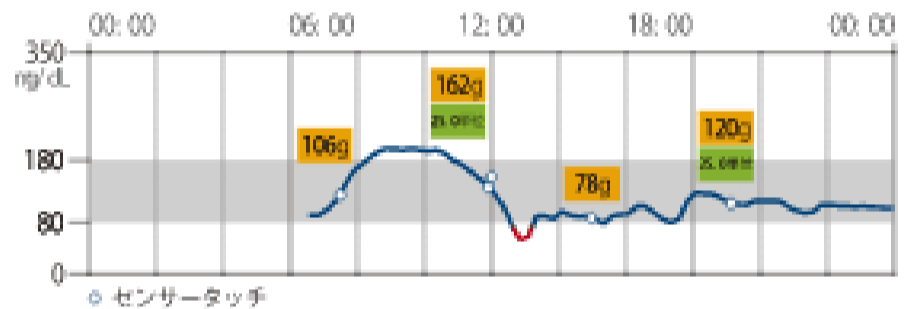


表1 血糖変動の推移

2020年4月より「リブレ」の保険が変更になり、新しい保険では指先での採血が必須ではなくなりました。新たな条件として、1型、2型糖尿病問わず、

- ① インスリンを1日4回注射している。
- ② 以前1日4回注射をしていて、今は混合型インスリンを1日2回注射している。

上記①②のどちらかを満たしていれば保険適応となります。1日4回注射と血糖測定（月120回）をしていた人では少し医療費が下がります。ただこの条件に当てはまらない人に関しては、従来条件での保険適応となり指先での採血が必須であり、使用できる期間も1型（4週間分）と2型（2週間分）となります。

注意事項として、一刻を争う低血糖時は血糖値より遅れて変動するため使えませんので、指先採血での採血が必要になります。血糖そのものを測定しているわけではなく、細胞の隙間の間質液中の糖を測定しているため、血糖よりも遅れて変動していきます。また、センサーは2週間ずっとつけているため、皮膚がかゆくなったり、赤くかぶれてしまうことがあります。インスリンを1日2回以上注射している人であれば、今使っている血糖測定器からの変更だけでなく、自分の血糖変動のパターンを知るために2週間だけつけてみることもできますので、気になる方はスタッフまでお問合せ下さい。